



茶の花ちゃん

にし いち げん き つう しん

# 西一元氣通信



茶の木くん

～ 西砂学習館運営協議会便り ～

- 1面：西砂学習館にWi-Fiが設置！
- 2面：第42回 西砂学習館まつりに参加して
- 3面：西砂サマーイベント／地域再発見
- 4面：「平和都市宣言30周年企画」について

編集・発行 西砂学習館運営協議会  
 (西砂町6-12-10 西砂学習館内)  
 ☎/FAX 042(531)0431  
 [西砂学習館メールアドレス]  
[nishisunagakusyukan@city.tachikawa.lg.jp](mailto:nishisunagakusyukan@city.tachikawa.lg.jp)

## ワイファイ 待望のWi-Fiが西砂学習館に設置



やったね

### 6月24日より使用可

生涯学習推進センターでは、利用者の情報取得と発信の利便性の向上を図ることを目的として、6館全ての学習館でWi-Fiが使えるようになりました。

利用規約をしっかりと読んで、マナーを守って正しい使い方をご利用して頂けますようお願い致します。

Wi-FiのID(電波の名前)は、nishisunagakusyukan です。

学習館に来たらキャッチできます。パスワードは、西砂学習館受付で聞いて下さい。Wi-Fiの電波は、西砂学習館内の第2実習室・陶芸室以外は全て飛んでおります。視聴覚室と第1教室に固定で2箇所設置していて、両方とも同じIDとパスワードです。接続する場所によって、どちらか電波の強い方に接続します。学習館(敷地も含む)の中でアンテナの数が減ってきましたら、一度、Wi-Fiを切断して、もう一度接続すると、より良い電波とつなげることが出来ます。



## 第42回 西砂学習館まつりに参加して



ヤッホー！茶の木くん！  
3年ぶりの西砂学習館まつりだね！

3年間は長かったですね「学習館まつり」が出来てよかったです。フラワーサークル桜さんと同じ部屋で、素敵なお花と一緒に展示が出来ました。



西砂学習館運営協議会（以後、地運協と言います）としては、今回もパネル展示という方法で参加しています。このパネル展示を通して、地運協とはどのような組織で・どのような願いの下・どのような活動をしているのかを、広く知って頂きたいと願っています。

具体的には、(1)地運協の構成メンバーの紹介と会議(2)地運協が目指す生涯学習のあり方(3)その目的の実現に向けた、講座やイベントの紹介(3年分)。

なお、内容は4つの柱に分類され、①地域の居場所作り②地域発見③新しい住民の地域デビュー④防災・認知症講座等となります。

多くの方が学習館に足を運ぶきっかけとなり、住んで良かったと思えるこの地域での生活が始まりますことを、心より願っています。

# 「西砂サマーイベント」 ～火曜日は学習館に行こう！～ ☆お昼ご飯が復活しました！！



新型コロナ対策をしっかりと施し、3年ぶりにお昼ご飯の提供を復活いたします！例年通り、午後の学習もしっかり行いますが、今年は、午後のイベントにも力を入れ、より充実した夏の日が過ごせるように取り組みます。

このイベントは、西砂・一番町地域の皆様のお力添えで成り立っております。皆様からの食材のご提供やボランティアでのご参加もお待ちしております。



詳しくは、西砂サマーイベントのチラシや回覧をご覧ください。

## 地域再発見 西一散歩

懐かしい故郷や転勤で暮らした土地の言葉。心に残る思い出の風景・事物・伝承などを思い起こしながら、今住んでいるこの地域を改めて覗いてみてはどうでしょうか。

### 「麦刈りとカマアライ」

(西砂川の方言)

#### 「お行」

おっばる (行ってしまう)

おっばなす (つかんでいた手(物)を放す)

おっぴよる (小枝等を折る(へしおる))

おっぴらうく (風呂の水や川の水が溢れる)

おっぺけー (とぼけたやろーと言う意味)

おっぺす (押す) (注)無理に押し込む時には、おっぺい

む、おっぺいむと言ふ)

「西砂川方言辞典」

より転載

麦を刈り始めるのは、六月十日、小麦は二十日頃であった。ちょうど、蚕の上簇が六月十日辺りで、麦刈りと重なってしまう。蚕の大眠のトマリが、六月五日から十日位になるので、その時に大麦を刈り、マユカキの後に、小麦を刈るようになっていた。しかし、その年の天候によつては、麦が早く色づいてしまつたり、雨降りが続いて、トマリの間に麦刈りが出来なかつたり、大変であった。麦刈りが終わるのは六月の末になる。麦刈りが済むと、カマアライというお祝いをした。その年に使った鎌を全部洗い、びかびかに砥いで光らせる。その鎌を箕の中に並べ、縁側に出した台に乗せる。新しい小麦を粉にして、うどんやマシユウを作った。麦刈りを手伝ってくれた人たちに配ることもあった。

「立川の年中行事(砂川地区)より転載

## 「平和都市宣言 30 周年企画」について

5月の「地域学習館運営協議会合同会議」の中で、柴崎学習館運営協議会・柴崎学習館の企画として、7月2日砂川学習館を手始めに6館全部で、「立川の戦争」と題した展示を行うことが決まりました。西砂学習館では、7月16日(土)から24日(日)まで資料展示を行い、16日(土)午後2時から4時まで、榎崎 茂彌氏による講演会「立川市民の戦争」が予定されています。

西砂学習館運営協議会としては、できる限り西砂地域の当時の戦争の現実・体験等を同時に伝えられたらと考えていた所、榎崎様よりご助言を頂き、早々に西砂在住の吉岡 正武氏の話の伺う機会を得ました。



吉岡氏は、「この悲しみをくり返さない」立川空襲の記録II 砂川村の空襲 (立川市文芸同好会編)にも寄稿されております。当時7歳であった吉岡氏が、夜間の空爆(焼夷弾による大火)に遭遇した時の様子がありありと記録されています。あたかも、この日は、1945年8月2日。立川が7回も空爆を受けた7回目でもあります。「八月二日 中里新田では・・・」という題名でまとめられてという通り、この地域が大きな被害を受けた日でもあったのです。この本の中に、この中里地域の戦争の悲惨な様相等を14名の方が寄稿して下さっています。題名を目にするだけでも、「たちまち火の海に」「おっかない夜でした」「すべてが灰となった」「あっという間に」「どこもここも真っ赤」「焼け野原」

「中里部落焼失す」等、当時の恐ろしい状況がまざまざと想起されます。

横田基地の東側から、林泉寺の西側辺りに、多くの焼夷弾が落とされ、爆発と大火であまりにも多くの被害を受けたとのこと。幸いにも林泉寺脇の大樺は被災を免れ、今なお大樹の姿を見せてくれていますが、中里地域では戦後76年経った今でも、不発弾が埋もれているのではと懸念される状況だそうです。

「立川市平和都市宣言30周年」のこの時期、学習館に足を運んで頂き、それぞれが心に留める機会になって頂ければ幸いです。(会長 大橋 正則)

**7/16 (土) 午後2時～4時 弁士：榎崎 茂彌 氏**  
映像を見ながら「立川市民の戦争」を語る！(西砂学習館視聴覚室)

**7/16 (土)～7/24 (日)** 申し込み：柴崎学習館 ☎(524)2773  
**立川市平和都市宣言30周年記念パネル展**(西砂学習館1階)